

令和 2年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	木原奉文
		全体計画				経費区分		-		内線	3416
事務事業名	4169 林業振興対策事業										
所 属	150100 産業振興部・農林課										
施 策	05012200 森林の多面的機能の維持保全と共生										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	060301 農林水産業費・林業費・林業振興費									
	事業	010000 林業振興対策事業									
事業目的						事業概要・効果					
森林のもつ多面的機能を強化するため、森林の整備・作業道等の開設を行い、間伐材の搬出を促進する。また、森林づくり推進支援金を活用して、間伐材製品の設置により森林整備の必要性の啓発を行う。						林業振興に対し、森林のもつ多面的機能の維持と保全と共生が図られる。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
丸太柵工=3段 24m ベンチ大 6台 ベンチ折込 8台 松くい虫伐倒駆除 85本 60.47㎡	丸太柵工=3段 40m ベンチ大 6台 ベンチ折込 3台 松くい虫伐倒駆除 40本 30㎡
平成29年度 実績	平成30年度 実績
丸太作工 3段 30m 間伐材ベンチ ベンチ大2台 ベンチ折込 2台 松くい虫被害木伐倒駆除（準公共施設）65本 60㎡	丸太柵 3段 20m 間伐材ベンチ 丸太ベンチ 4台 松くい虫被害木伐倒駆除（準公共施設）37本 30㎡ 林地台帳管理システム整備（林地台帳管理システム作成業務・林地台帳整備業務）
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
遊歩道路面水切工設置 3m 6か所 間伐材背もたれ式ベンチ8台 林地台帳及び森林情報システム年間保守委託 意向調査事業業務委託 里山整備方針作成基本情報調査業務委託	遊歩道路面水切工設置 3m 6か所 間伐材背もたれ式ベンチ8台 林地台帳及び森林情報システム年間保守委託 坂田山共生の森業務委託

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		14,115	20,757
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	1,270	603
	地方債	0	0
	その他	10	6
一般財源		12,835	20,148
人員数(人)	正規職員	0.2	0.5
	嘱託職員	0.4	0.0
	臨時職員	0.6	0.7
人員コスト	正規職員	1,453.0	3,632.5
	嘱託職員	1,131.6	0.0
	臨時職員	778.8	908.6
	計	3,363.4	4,541.1
市民一人当たりの経費		0.3	0.5
総額		17,478.4	25,298.1

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	350	消耗品276、燃料費74
13節 委託費	2,945	坂田山共生の森業務委託料99、林地台帳森林情報システム保守委託327、意向調査事業業務委託1,059、里山整備方針作成基本情報調査業務委託660
15節 工事請負費	397	遊歩道路面水切工397
19節 負担金補助及び交付金	242	県治山林道協会賦課金179ほか
その他	10,181	報酬4,266、旅費4、役務費277ほか

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	427	消耗品278、燃料費74、印刷製本費10、修繕費65
12節 委託費	2,451	坂田山共生の森業務委託料100、草刈等委託800、林地台帳システム保守業務330、意向調査事前準備委託1,221
14節 工事請負費	410	遊歩道路面水切工設置410
18節 負担金補助及び交付金	208	県治山林道協会賦課金140ほか
その他	17,261	報酬1,440、給料2,476、職員手当等539、共済費427ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	私有林の人工林を対象に、間伐等の森林整備を図るため、森林経営管理制度の運用を進めることで、森林の多面的機能の維持、保全を図ることができる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	坂田山共生の森の里山整備をすることで、地域で親しまれる身近な里山として、市民をはじめ多くの方が集う場所となってきている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	坂田山共生の森の遊歩道整備や草刈りなどの維持管理について、地元の「NPO法人坂田山共生の森を愛する会」の皆さんによる自主運営の努力により経費削減につながった。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

森林が持つ多面的機能の維持、保全を図るため、森林経営管理制度による意向調査に向けて事前準備を進めた。間伐材を活用し、坂田山共生の森の遊歩道路面水切工を設置した。坂田山共生の森が、市民をはじめ多くの方が集い身近な里山に親しむことができるよう、今後も維持、管理を行う。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>森林が持つ多面的機能の維持、保全は防災や水資源の涵養のためには必要不可欠。森林譲与税に係る新たな森林管理システムの運用次第で事業は拡大する。</p>		<p>森林経営管理制度による整備を計画的に進める。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	